

点字講座・松山盲学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員8名は、11月13日から点字講座を4回受講し、点字の成り立ちや打ち方について学びました。また、12月19日に愛媛県立松山盲学校を訪問して、交流体験学習会を実施しました。

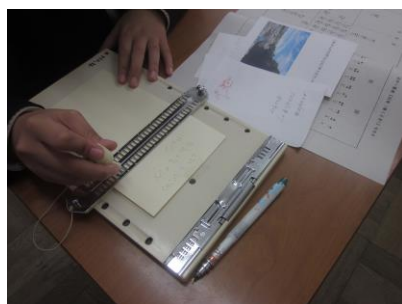
点字講座の様子や松山盲学校との交流体験学習会の報告をします。

1 点字講座

点訳奉仕四つ葉グループの二宮さんと小川さんを講師にお迎えして、点字を教えていただきました。



《 講師の先生が丁寧に説明して下さいます 》



《 点字板、点筆を使って点字を打っていきます 》



《 点字作品を持って集合写真を撮りました 》

2 松山盲学校との交流体験学習

12月19日の午後、人権委員8名で松山盲学校を訪問し、松山盲学校の生徒さん6名と交流体験学習を行いました。

事前に準備していた点字の名刺を使って自己紹介をした後、松山盲学校では普段どのように学習しているのか、「パソコン」「スマホ」「点字タイプライター」を使って体験させていただきました。視覚に障がいがあっても、みんな便利な機器を使いこなして学び、コミュニケーションを取っていました。

その後、サウンドテーブルテニスをしました。サウンドテーブルテニスとは、目隠しをして、音の出る玉を転がして打ち合う競技です。「えひめ大会」の銀メダリストの松浦佑美さんとも対戦させていただきました。



《 音で聴いた文章を画面を見ずに打ちます 》



《 目隠し無しで戦っても松浦さんに勝てません 》



《 最後は笑顔で集合写真 》

<参加者の感想>

- ・耳だけを頼りにパソコンに文章を打つことは、とても難しかったです。
- ・普段私たちが使っているスマホに、いろいろな機能があることを知りました。例えば、背景は白から黒に変更でき、書いた文章を音で聞くことができます。他にどんな機能があるのか、調べてみたいです。
- ・目が見えない中で、音だけでボールの位置をつかむ卓球は、とても難しかったです。松浦さんの「えひめ大会」での試合の様子を事前に観ていましたが、映像で見た時よりも、サーブはずっと速く感じて驚きました。
- ・今回交流をしてみて、目の大切さを改めて感じました。見えないと不安だし、とても怖いと感じました。これからは、点字や点字ブロックを意識したいと思います。また、困っている人がいたら助けられる人になりたいです。
- ・盲学校の先生に「障がいの有無にかかわらず、一人の高校生として接してください」と言われて、自分の心の中にあつた障がいを持つ人への不安や壁が、一気に無くなり、そう感じていた自分自身が恥ずかしくなりました。交流体験に参加して本当に良かったです。今後私は、誰もが住みやすい環境や、良好な人間関係を築いていけるように、自分から積極的にいろいろな人と関わっていきたく感じました。

<参加者の感想>

- ・最初は点字を打つのが難しく、失敗ばかりでしたが、優しく丁寧に指導してくださったおかげで、それなりの速さで打てるようになりました。
- ・点字の歴史や、点字を打つ道具について学べて良かったです。自分の身の周りにある点字を見つけていきたいです。
- ・点字は難しいと思いましたが、私たちが点字を覚えることで、視覚に障がいのある人たちが住みやすい社会になると感じました。お互いが支え合って生きていかなければいけないと気付くことができました。
- ・点字を打つのは、手が痛くなるし大変でしたが、完成した時はとてもうれしかったです。
- ・点字の基礎を学ぶことができたので、今後、ボランティアなどに積極的に参加して、今回の活動を次に繋げていきたいと感じました。

手話講座・松山聾学校との交流体験学習会報告

私たち人権委員10名は、11月13日から手話講座（4回実施）で手話を学び、12月18日に愛媛県立松山聾学校との交流体験学習会を実施しました。手話講座と松山聾学校との交流体験学習会の報告をします。

1 手話講座

手話サークルあやめの岡本さんと田川さんと中屋さんを講師にお迎えして、手話を教えていただきました。

<学習内容>

- ・「こんにちは」「はじめまして」「ありがとう」などのあいさつ
- ・自己紹介の方法（北条高校〇年、名前、部活動、趣味など）
- ・それぞれの手話の由来など



<参加者の感想>

- ・始めは何も知らなくて不安だったけど、講師の先生のお陰で手話を覚えることができた。
- ・手話の成り立ちや歴史なども交えながら手話を学ぶことができたので、とても面白かったし、勉強になった。
- ・「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」などの基本的な言葉や自己紹介の仕方を分かりやすく教えてもらい、手話に興味を持ちました。
- ・最初は、基本的な挨拶からスタートしました。自己紹介や手話コーラスまで努力すれば、すぐに覚えられると思いました。できるようになっていくのがとてもうれしかったです。来年も参加したいと思いました。
- ・いろいろな手話表現を教えてくださいましたことが有難かったです。自分の名前は手話で覚えていたけど、新しく高校の名前や学年、趣味などを手話で表す方法を教えていただいて、それを先生のお手本なしでスラスラできるようになったことがうれしいです。

2 愛媛県立松山聾学校との交流体験学習

12月18日の午後、人権委員10名で松山聾学校を訪問し、松山聾学校高等部の生徒さん4名と交流体験学習を行いました。

開会式の後、手話で自己紹介を行い、私たちは手話コーラスを行いました。その後、グループに分かれて手話カルタをしました。出題者の手話を見て、意味を考え、チームごとに競いました。自由歓談（筆談等によるフリートーク）では、楽しく交流し、あっという間に時間がたちました。

<活動の様子>



開会あいさつ



手話コーラス



手話カルタ



自由歓談



集合写真



閉会あいさつ

<参加者の感想>

- ・初めは緊張して少しパニックになってしまいましたが、事前の手話講座の成果が出せたと思います。聾学校の生徒さんの手話は速すぎて驚きました。読み取るのが難しかったですが、何度も手話をしてもらって交流しました。
- ・手話やジェスチャーで、思っていた以上に会話ができ、お互いのことを話せたのでとても楽しかったです。
- ・聾学校に行く前は、正直不安だったけれど、実際に行って話しているうちに不安は消え、楽しく活動することができました。耳が聞こえないということに身構えていたけれど、実際に会って会話すると自分も相手もお互いに言いたいことが伝わったので、身構える必要はありませんでした。一生懸命さや、人と出会う楽しさを感じる心など、私たちは彼らから学ぶことがたくさんありました。
- ・最初は、コミュニケーションの取り方が難しかったけれど、伝えようという気持ちがあれば、思いは相手に伝わるのがわかり、うれしかったです。